

豊田市
郷土資料館
だより
No.64

Toyota City Museum
Of
Local History



目次

- ・資料紹介「新指定の文化財」…………… 2
- ・企画展「むかしの学校」…………… 3
- ・新規事業「博学連携ノススメ」…………… 4
- ・平成19年度文化財保護事業報告…………… 5
- ・平成19年度埋蔵文化財調査の概要…………… 6
- ・発見館からのお知らせ 平成19年度事業報告 …… 7
- ・文化財シリーズ64・資料館 NEWS …… 8



博学連携 遺跡見学・出前授業の様子

新指定の文化財

豊田市教育委員会では、新たに下記の3件を市文化財に指定しました。

①寿町の達磨窯（ことぶきちょうのだるまがま）

員数・時代 1基 大正～昭和

種別 有形民俗文化財

所在地 寿町5丁目25番地、個人所有

指定理由

達磨窯は瓦焼成用の窯で外観が座禅をする達磨大師に似るところから名称の由来がある。大正10年の築窯と伝えられ、国内でも現存する達磨窯として最古級、寿町周辺で盛況であった製瓦業の一端を伝えている。本市の近代化、産業遺産として保存が必要である。



達磨窯(昭和30年代)



達磨窯(現状)

②寺部城跡（てらべじょうあと）

員数・時代 1カ所 7,617m²

中世・江戸前期～明治初期

種別 史跡

所在地 寺部町1丁目1番1ほか、豊田市所有

指定理由

江戸時代、14,000石を領有した大名格の尾張藩付家老渡辺家13代の居館で建物跡の礎石等が良好に残されている。寺部八幡宮、墓所、守綱寺、随応院、守綱寺伝来の歴代当主画像、渡辺家伝来の南蛮胴具足と並んで渡辺氏関係の資料の中核をなす史跡である。



寺部城跡

③馬場瀬古墳群（まばせこふんぐん）

員数・時代 1カ所 7基現存 6～7世紀

種別 史跡

所在地 平戸橋町馬場瀬90番2ほか

豊田市、馬場瀬神社所有

指定理由

古墳としては矢作川最上流域の山間地と平野部との結節点に位置する。8基から構成される6～7世紀の築造で、市域で最大級の古墳群である。銅鐸出土地や百々古墳など主要な遺跡に近いこと、矢作川の遡航終点付近という地理的条件も加味され歴史的価値が高い。



馬場瀬古墳群(8号墳石室)

※指定日 平成20年6月2日

「むかしの学校」

平成20年7月19日(土)～8月31日(日)

子どもたちにとって身近な学校をテーマにとりあげ郷土資料館で同時開催する「夏休みこども月間」にあわせて子ども向け展示を行います。

現在豊田市内に76校ある小学校、それぞれの小学校はいつからあるの？お父さんお母さんが子どもの頃の学校はどんなだったの？おじいちゃんおばあちゃんが子どもの頃はどんなだったの？そんな疑問に答える展示を行います。



むかしの教科書



展示をする教科書は市民から寄贈されたもので、古くは明治期のものから昭和期のものです。子どもたちの親世代にあたる昭和40年代のものもあります。

展示では、今の教科にはない「修身」や「読本」といった教科による違いや、

同じ教科でも明治期のものと昭和期のものと時代によっての違いも比較し紹介します。

学校の写真

挙母第一尋常小学校（挙母小学校）はじめ市内にあった学校の古い写真を紹介します。木造平屋建ての校舎の様子や着物姿で学習する様子など、現在の子供たちには想像もつかない学校の姿を写真を通してみるができます。

この他に、文房具や卒業写真、卒業証書などを展示します。子どもにはめずらしく、大人には懐かしい「むかしの学校」へ是非お出かけください。



絵葉書 「挙母第二尋常小学校（根川小学校）」

むかしの机

昭和40年代まで山之手小学校で使われていた二人用の机と椅子です。大人には懐かしく子どもにとってはめずらしい木製の机と椅子に実際に座ってみることができます。

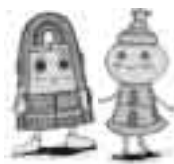
「夏休みこども月間」を同時開催

とよたの歴史やむかしの人の生活がわかるさまざまな資料を展示。

「昔の道具にさわってみよう！」「火起こし」「とよたのトレジャー（宝物）を探そう！」

※※さまざまな講座を実施します！※※

親子講座	「まがたま作り」	7月29日、30日、31日	午前・午後（全6コース）
	「土偶作り」	8月5日	午前・午後（全2コース）
	「史跡めぐり」	8月22日	9時～16時30分
中学生講座	「まがたま作り」	8月1日	午前・午後（全2コース）
こども講座	「古代の布作り」	8月7日、8日	（全2コース ※中学生も参加できます）



1. 郷土資料館と学校が一緒に作りあげる学習

豊田市郷土資料館では、子どもたちの学習に必要な「もの」「こと」「ひと」を活用することによって、本物体験の中から感動を与え、学習を深めていくプログラムづくりを行っています。そのプログラムづくりの過程で一番重視していることは、子どもを一番よく知っている「教師とともに作りあげていく」ことです。事前打ち合わせを通して、郷土資料館のコーディネーターと学芸員が、授業のねらいを十分に理解して、どのような「もの」「こと」「ひと」をどのように提供できるか、教師とともに吟味します。授業後は、児童生徒の感想や教師の意見などから学びの成果を確認し、プログラムの修正に生かしています。

2. 「もの」「こと」「ひと」を活用した連携の手段

(1) 出前授業サポート

本物の資料をもとに、当館の学芸員がチームティーチングに参加したり、主たる講師として授業を行ったりと、授業のねらいに合わせてサポートします。教室や遺跡など学習場所を選びません。また、授業を行う前に、どのような事象を扱うことができるか題材選びのサポートも行います。

(2) 資料館見学サポート

常設展や企画展の見学を学習に生かします。さらに、当館の民俗資料館、民芸館、近代の産業とくらし発見館での見学や体験も準備し、時代別、分野別の学習に対応しています。

(3) 教材貸し出しサポート

社会科に限らず、他の教科・領域の単元に関わる遺物や民具に対応しています。国語の読み取りの効果をあげたり、合唱曲のイメージをふくらませたりする実物教材を貸し出しします。

※文化財の維持管理の関係でお見せしたり、ふれたりすることができないものもあります。

3. 出前授業プログラム「竪穴住居を復元！」

～山之手小の実践より～

4月25日(金) 山之手小学校の6年生95名が、史跡「曽根遺跡」の見学にやってきました。



事前打ち合わせで、担当の鈴木先生が「曽根遺跡の見学をしたいのだけれど、どのような学習ができるのでしょうか。今までは、ただ竪穴住居を見るだけという見学だったので」と相談されました。そこで、先生とともに考えたプログラムが、「竪穴住居を復元！」でした。曽根遺跡は、発掘の状態のまま特殊な方法で固めた遺構と、復元住居を併設した県内でも珍しい遺跡です。この遺構をワークシートにし、子どもたちが紙面で竪穴住居を復元できるように企画しました。自分が予想した復元図と目の前の復元住居を比べることで、実際の柱の位置、大きさ、材質、そして梁と垂木^{はり たるき}の存在などが明らかになってくるという学習プログラムです。

当日、見学の視点を与えられた子どもたちの、住居や遺構を見る目が変わってきました。

「柱は四本なんだ。とすると、この穴が柱の穴かな……」

「ぼくの家

の柱より太いんだ」

「住居の中は涼しいね。屋根が

わらだからかな

？」「屋根に穴が

開いているけど、

何だろう」「何人

で暮らしたんだ

ろう」それらの

疑問は、実際に

発掘を行っている

学芸員のヒント

によって徐々

に解決されてい

きました。



(伊藤俊満)

平成19年度文化財保護事業報告

【文化財保護事務】

1 文化財保護審議会

- ・審議会開催 5 回（答申 2 件・諮問 3 件）
- ・研修（重要伝統的建造物群保存地区・近江八幡市、滋賀県立安土城博物館）
- ・文化財防火デー守綱寺始め 6 カ所

2 埋蔵文化財 6 ページ参照

3 指定、登録文化財

- ・市指定 千匹絵馬、村上家千巻舎
- ・登録 名古屋鉄道三河線旧広瀬、西中金駅（駅舎・プラットホーム）

4 文化財等保存維持・修理補助事業

- ・史跡名勝天然記念物維持 1 件
市指定シダレザクラ樹勢回復
- ・有形文化財保存修理 1 件
市指定絹本着色軸装不動尊像
- ・有形民俗文化財修理 3 団体
県、市指定山車
- ・有形民俗文化財保存施設 1 件
山車蔵改築
- ・有形民俗文化財保存維持 16 団体
県、市指定山車
- ・無形民俗文化財保存維持 26 団体
市指定囃子 11・棒の手 15 団体
- ・伝統的郷土芸能保存維持 22 団体
市認定農村歌舞伎・神子舞等
- ・伝統的郷土芸能保存修理 1 団体
市認定団体太鼓
- ・郷土の偉人顕彰活動 5 団体
先人顕彰会
- ・建造物維持管理 1 団体
消火設備点検
- ・地域無形民俗文化財 11 団体
合併地区雅楽、歌舞伎等
- ・郷土史調査 1 団体
郷土史研究

5 史跡整備

- ・史跡標柱設置（七州城跡）
- ・百々貯木場跡整備計画検討会議
- ・寺部城跡・馬場瀬古墳群用地取得
- ・足助町地区伝統的建造物群保存対策への取組み

【郷土資料館事務】

1 展示

- ・特別展「風外本高展」
1月26日～3月2日 1,814 人

- ・企画展「地下に埋もれた縄文の森」展
7月28日～9月2日 2,148 人

- ・企画展「縄文の工芸美」
11月17日～1月14日 2,085 人
年間入館者数 13,046 人

2 資料調査

- ・とよたの祭事記録
河上瀬のどんと焼
- ・歴史的建造物調査 2 件
内藤魯一旧宅・榎塚味噌工場
- ・とよたの歌
- ・指定文化財調査・撮影

3 資料収集・複製・修理

- ・資料購入
猿投山登山案内図ほか
- ・複製
三河国拳母城築絵図
- ・修理
風外筆六曲一双屏風修理

4 講座

- ・歴史体験講座開催
鎧・姫衣装の試着 218人
秘伝を訪ねる 23人
縄文土器づくりに挑戦しよう 23人
夏休みこども週間 268人
冬休みこども週間 241人
春休みこども週間 597人
参加者合計 1,370人

- ・博物館館務実習受入れ（9月）

5 近代の産業とくらし発見館 7 ページ参照

6 その他

- ・豊田の棒の手県指定50周年記念事業
- ・豊田市棒の手保存会伝統芸能活性化国民協会より
功労賞受賞
- ・農村歌舞伎合同公演事業
- ・ニホンカモシカ死体（現状変更）処理21件



足助川沿いの足助の町並み

平成19年度埋蔵文化財調査の概要

○有無の照会

住宅建設や宅地造成、開発の事前調査、不動産鑑定といった各種開発に伴って埋蔵文化財の有無が照会されます。照会件数は H17年度332件、H18年度568件、H19年度728件と増加傾向にあります。H19年度は遺跡(埋蔵文化財包蔵地)に該当したものは221件です。地区別では表1のような内訳で、猿投・高橋・拳母地区が多くなっています。

【表1】

地区	猿投	拳母	高橋	松平	高岡	上郷
件数	43	54	59	2	2	21
地区	藤岡	小原	足助	下山	旭	稲武
件数	10	0	17	4	5	4

○届出

【表2】

地区	件数	主な遺跡
猿投	9	伊保遺跡、亀首遺跡、上原遺跡
拳母	15	桜城跡、梅坪遺跡、瑞穂遺跡、七州城跡
高橋	18	高橋遺跡、寺部城関連遺跡
松平	1	
高岡	1	
上郷	8	神明遺跡、郷上遺跡
藤岡	2	深見1号墳
小原	0	
足助	8	井ノ口城跡、栃ノ実遺跡、北貝戸遺跡
下山	1	
旭	0	
稲武	0	
計	62	

遺跡内での開発には文化財保護法により届出が必要で、民間開発事業74件(前年比+22)、公共事業23件(前年比+13)がありました。昨年度と同様に拳母・高橋・猿投地区が多く、上郷地区でも増加しています。遺跡別では瑞穂遺跡・七州城跡・高橋遺跡・寺部城関連遺跡での届出が特に多くなっています。また、事業別の内訳は民間開発のうち半数が個人住宅の建設や宅地造成によるもので、ほかに共同住宅の建設・事業系建物の建設・通信塔の建設・ガス工事等がありました。公共事業では宅地造成・道路工事などによるものでした。これらへの対応は「慎重工事」6、「工事立会」7、「確認調査・試掘調査」17、「本調査」11件でした。また、

表3-1・3-2は調査を実施した遺跡の概要です。

【表3-1 本調査を実施した遺跡一覧】

遺跡名(所在地)	調査原因	調査期間(日)	調査面積(m ²)	主な遺構
堂外戸遺跡(市木町)	住宅建設	180	2,930	住居・墓
拳母城跡(小坂本町)	道路建設	76	1,350	屋敷地
堂外戸遺跡(市木町)	宅地造成	25	170	
高橋遺跡(高橋町)	宅地造成	290	9,515	住居・墓
神明遺跡(駕鴨町)	住宅建設	16	106	柱列
栃原遺跡(東山町)	宅地造成	218	5,492	住居・墓
寺部城跡(寺部町)	宅地造成	5	30	溝
拳母城跡(元城町)	電線工事	3	6	石垣
寺部城関連遺跡(寺部町)	住宅建設	23	95	溝
高橋遺跡(高上2丁目)	住宅建設	9	45	住居
郷上遺跡(渡刈町)	倉庫建設	104	802	溝

【表3-2 確認調査・試掘調査を実施した遺跡一覧】

遺跡名(所在地)	調査原因	調査面積(m ²)	主な遺構
金谷城跡(金谷町)	宅地造成	50	
下八桑遺跡(新盛町)	個人住宅	8.4	
守綱寺南地区試掘(寺部町)	用地造成	75.2	
野林本郷遺跡(籠林町)	用地造成	4.3	
金谷大塚古墳(金谷町)	用地造成	8.5	
神明遺跡(駕鴨町)	個人住宅	15	
金谷城跡(金谷町)	用地造成	42	
郷上遺跡(渡刈町)	用地造成	75	溝
梶畑遺跡(桑原町)	集合住宅建設	28.4	
神明遺跡(駕鴨町)	道路工事	9.8	
弁財1号竈(西岡町)	集合住宅建設	25	
亀首遺跡(亀首町)	道路工事	213.6	溝
寺部土地区画整理地区試掘	土地区画整理	103.2	
金谷城跡(金谷町)	個人住宅	48	溝
美和住宅試掘(美和町)	宅地造成	29.5	
今地区試掘(今町)	河川工事	34	
第2藤岡中学校用地試掘(西中山町)	学校用地造成	327	

この他、届出のない電柱工事など軽微な工事に伴う立会いが数十件あったほか、開発事前協議や土石採取事業に伴う遺跡の有無確認などがありました。

(杉浦 裕幸)

発見館からのお知らせ

平成19年度事業報告

豊田市近代の産業とくらし発見館(通称『発見館』)は、開館以来「近代から「とよた」を発見する」を標語に掲げ、豊田市全域を展示室としたエコミュージアムの拠点施設として活動しています。昨年度中には3回の企画展をはじめ、ものづくり講座やワークショップ、見学会など各種事業を展開しました。また出前講座等、館外での活動も展開しました。

(平成19年度開催事業等)

企画展

「加茂蚕糸 大煙突の下で」

(期間: 5月29日～7月29日、来館者数3,007人)

「とよた駅物語 三河鉄道に乗って運ばれた人・モノ。思い」

(期間: 10月2日～12月16日、来館者数3,027人)

「水神になった商人・西澤真蔵」

(期間: 平成20年1月29日～3月23日、来館者数1,666人)

ものづくり講座等(主催のみ)

手織り機コースター作り／ガラ紡指あみアクセサリー／葉脈標本で葉作り／金属アクセサリー作り／絹の古布で作る針刺し／繭から糸繰りミニランプシェードづくり／鬼瓦製作実演見学とミニ瓦づくり／鋳造で作るクリスマスオーナメント／名鉄三河線 路線図すごろくを作ろう／人造石をつくってみよう 講座／繭玉でおひなさまをつくろう！

ワークショップ

人造石をつくろう！／ガラ紡水車再生プロジェクト「流・龍・展」

見学会

養蚕農家を訪ねよう／名鉄三河線廃線跡を歩く近代化遺産ツアー／近代化遺産探訪ミステリーツアー／「近代化遺産探訪案内」出版記念バスツアー／枝下用水・西澤真蔵の碑をめぐるバスツアー

その他

「近代化遺産探訪案内」刊行／全国近代化遺産活用連絡協議会 東海北陸ブロック研修会開催

平成19年度の事業のなかでも、市民参加のワークショップで行った「人造石を造ろう！」と「ガラ紡水車再生プロジェクト」、そして発見館と市域に点在する近代化遺産とをつなぐ「近代化遺産探訪案内」の刊行は、発見館の新たな活動として特筆すべき事柄です。



ガラ紡水車をアートに再生

平成19年度の発見館活動の参加者数は12,704人にのばりました。企画展開催中には、展示の主題に関わりがあった方や深い興味を持つ方々のお話を伺うことや、つながりを持つことができたり、新たな資料を発掘できたりしました。また講座等に様々な形で参加して下さった方々からは、発見館のスタッフへの温かい言葉をいただくなど、多くの人たちに活動を支えていただきました。

平成20年度も「気付けば面白い」豊田市の地域的な特色を近代の産業とくらしから発見していただくための様々な催しを計画しています。現在のところ企画展3回のほか、各種講座を積極的に展開する予定です。また、今年度は近代化遺産の保存と活用に関する市民参加型のシンポジウムの開催も企画しています。開催行事の情報は発見館のホームページやブログ、豊田市の広報などを通じてその都度お知らせしますので、是非ご参加ください。(天野博之)

発見館の最新情報はこちらから⇒

ホームページ: www.toyota-hakken.com/

ブログ: www.toyota-hakken.at.webry.info/

問合せ先(発見館)

電話: (0565) 33-0301

メールアドレス: hakken@city.toyota.aichi.jp

文化財シリーズ

64

旧山内家住宅
愛知県指定有形文化財

旧山内家住宅は、西三河地方の典型的な鳥居建形式の民家です。全面板張りの広間一室形式で、
縦穴住居形式の名残りを上屋・下屋構成に見ることができます。建坪は19.75坪(60m²)で建築年代は18世紀前半です。中に入れば^{いろり}囲炉裏を見ることができ、民具も一部置かれています。

住宅建て替えの際に当時の藤岡村が貴重な郷土資料として保存活用するため、現状・解体調査を実施し、昭和47年3月に木瀬(現木瀬町)から飯野(現藤岡飯野町)への移築復元工事が完了しました。復元された旧山内家住宅は、資料館として公開され、村民共通の財産となりました。

所在地：藤岡飯野町仲ノ下1048-1(藤岡交流館南側)

その後、昭和50年12月26日に愛知県の有形文化財に指定され、当時の生活様式を後世に伝えています。



◀外観



いろり
◀囲炉裏▶

資料館NEWS

資料館で過ごす「こどもの日」

4月26日(土)から5月6日(日)まで資料館で過ごす「こどもの日」を開催しました。男の子の健やかな成長と強くたくましく育つ事を願って飾られました。市民から寄贈された五月人形を展示しました。また3日には「よろいをきてみよう!」を開催し、約230名が参加しました。鎌倉時代と戦国時代の鎧(レプリカ)と姫の衣装を試着できるという企画です。

鎧かぶとを身にまとった子どもたちは武士の気分を味わっていました。



郷土資料館 民芸館 発見館三館合同スタンプラリーを実施します!

「今夏 museum(ミュージアム)へ行こう」

8月1日(金)～8月31日(日) ※月曜休館

期間中に3つの館をまわってスタンプを集めると、オリジナルグッズがもらえます。3館で配布するスタンプカードを受け取って参加してください。グッズとの交換も同日までです。参加費は無料ですが、民芸館の特別展入場、ワークショップは有料です。

発見館 企画展「猿投山ろくのトロミル水車」

7月15日(火)から8月31日(日)

大正から昭和初期まで猿投山ろく一帯で行われていた、トロミル水車による陶土生産の隆盛に迫ります。

利用案内

開館時間 9:00～17:00

休館日 毎週月曜日(祝祭日は開館) 年末年始

入場料 無料(特別展開催中は有料)

交通 名鉄「梅坪駅」より南へ 徒歩10分

名鉄「豊田市駅」より北へ 徒歩15分

愛知環状鉄道「新豊田駅」より北へ 徒歩15分

駐車場 約20台

■豊田市郷土資料館だより No.64■

平成20年7月29日発行

編集・発行 豊田市郷土資料館

〒471-0079 豊田市陣中町1-21

☎(0565)32-6561 FAX(0565)34-0095

E-mail: rekihaku@city.toyota.aichi.jp

URL: http://www.toyota-rekihaku.com

※豊田市郷土資料館だよりはHPでもご覧になれます。